39　１０月になりました

前期の終了式は来週末の１１日(金)となりますが、カレンダー上では今日から１０月、学校的には下半期に入ります。学校だよりの冒頭のあいさつでも書かせていただきましたが、この半年、そしてこれからの半年ということで、また一歩一歩進んでいきたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。

さて、校内では１０月２６日(土)の運動会に向けての練習がスタートしました。低中高の各ブロックでの団体演技の振り付け練習が校庭や体育館で行われています。特に先日行われた高学年ブロックの「ソーラン節」第１回目の練習では、６年生が真剣な瞳、動きで５年生の手本となるべく力強い動きを披露していました。この動きを見て５年生は自分の動きをつくり、さらに６年生はその５年生よりもさらに一段上の大きさや力強さを表現できるよう努力していきます。他のブロックでも同じ現象が起きています。

実はこの現象、子どもたちだけのことではありません。教職員にも言えることなのです。夏休み中から曲選びの相談が始まり、動きの検討、修正、練習につながり、子どもたちに動きを伝える前などは、夕方一仕事終えた後、連日 廊下や教室で音楽に合わせて動きの確認を一つ一つしていくのです。こうして子どもたちに胸を張って伝えることができるのです。そして運動会当日に子どもたちの「やり終えた」という笑顔と保護者や地域の方々の大きな拍手に子どもたちが包まれたとき、教職員は「よかった」と思うのです。どうか当日の子どもたちの演技にご注目ください。